

① 研究の背景
教師が自分の仕事の効率を上げるようにアンケート調査を行う。

しかし子供たちはアンケート記入に興味がないので、記入率が非常に低い。

目的：アンケートの形を仕掛けにより変えて、授業に出席する学生のアンケート記入に興味をひく。

③ 実験
12月に大阪市内の中学校に招かれロシア文化の講義を行ったので、その講義の後に実験を行った。

中学生の21人はランダムに2つのグループに分けられた。1つのグループ(11人の生徒)は仕掛けが付いたアンケートを受け取り、別のグループ(10人の生徒)は仕掛けのないアンケートを受け取った。

② 提案手法
猫の仕掛け：
アンケートの隅に猫の絵を載せる
猫は猫の髭やしっぽなどが欠けている



仮説：猫に気が付いた子供がその絵を完成させたくなったら、ついアンケートの空白も埋めてしまう。

④ 結果と今後の課題

| | 仕掛け | | 仕掛けのない |
|---------|------|--------|--------|
| | 猫を描く | 猫を描かない | |
| 空白を埋める | 9 | 0 | 6 |
| 空白を埋めない | 1 | 1 | 4 |

仕掛けのあるアンケートの記入確立は82%

本研究が明らかに生徒の興味を引いた。しかし、データが限られているため、アンケート記入に対する仕掛けの効果を示す明確な傾向はなかった。

今後も、さまざまな学生のグループに対してこのような実験を数回行いたい。